

尖閣諸島問題 各党や県議会議長も「共産党は立派」

尖閣諸島問題の「見解」を持ち、県内の各政党や県議会議長に届けました。

「この問題は共産党が一番明確だ。共産党に入りたい気分だ」という県議も。県議会議長は、「地方議員を増やして頑張れ」と、期待を表明(写真右)。



日本うたごえ祭典が大成功

この10月、被爆65周年の長崎で開かれた「うたごえ祭典」。多くの党員が舞台上に立つなど、成功に貢献しました。12月は佐世保で「日本平和大会」です。

遅れた県からの 一日も早い脱皮をめざして

長崎県党の中期目標は、2019年までに国政選挙の得票を8万票(10%)とし、県議を4人以上に増やし、全自治体で議席をもち、現在の議席数を飛躍させることです。



計画の最初の参院選ではつまずきましたが、来年のいっせい地方選挙から巻き返しをはかり、目標達成に邁進する決意です。

読者で連続 37 カ月連続前進の北部地区など、この10月も全地区が前進して「赤旗まつり」を迎えました。

北部地区の奮闘を伝える「しんぶん赤旗」二〇一〇年八月



発行人 **日本共産党長崎県委員会** 2010年11月6日 【部内資料】

長崎市扇町 1-8 ・電話 095-849-6481 ・FAX849-6490 ・メール jcp@n.email.ne.jp

*ホームページは「共産党 長崎」で検索。日常的な活動を見ることができます。

第40回 10/11/6-7 赤旗まつり

長崎ちゃんぽん会

ご参加のみなさんへ長崎県党のご紹介

長崎県政の特徴 ■合併で自治体数が4分の1に

長崎県は全国一の合併推進県です。79 あった市町村が 2010 年 3 月には 21 市町に激減しました。全国一の減少率です。こうした合併の推進は、様々なひずみを生んでいます。



■長崎県政 4 つの争点

①諫早湾干拓…無駄な公共事業の典型として有名。「民主が政権に就けばすぐに開門」と言っていたのが菅首相。しかし、民主党は未だに「開門」の決断をしようとしません。「有明訴訟原告団」と支援する会などが、全国レベルの運動を展開し、「ただちに開門」を求めています。

②長崎「新幹線」…博多から長崎には特急カモメが運行中。長崎「新幹線」は在来線も走る名ばかり「新幹線」であり、時間短縮効果も実質10数分。これに3000億近い税金をつぎ込むことに、県民の批判が広がっています。

③石木ダム建設…「佐世保市民の飲み水が足りない」ことを最大の理由として、川棚町の石木(いしき)に造られようとしているダム計画です。佐世保市の水需要は年々減少しており、現在1万トンに及ぶ漏水をなくせば、ムダで環境破壊のダムをつくる必要はありません。

④県庁の移転新築問題…埋め立て地に県庁を移転する計画。浜町商店街などが「中心部がさびれる」と大反対。また海面上昇で県庁が出島のようなになる、という指摘もされています。

長崎県の共産党地方議員と議席空白自治体

2010/11/1 現在

■県議 堀江ひとみ(長崎市)

- 市議
 - ・長崎市…津村国弘、中田ごう、牧山隆、内田隆英、中西敦信
 - ・佐世保市…山下千秋 ・諫早市…中野太陽、西田京子 ・島原市…島田一徳
 - ・南島原市…桑原幸治、小林知誠 ・雲仙市…上田篤 ・大村市…久野正義
 - ・平戸市…山崎一洋 ・松浦市…安江結子 ・五島市…向原安男、江川美津子
- 町議
 - ・長与町…河野龍二、堤理志 ・時津町…浜辺七美枝 ・佐々町…仲村吉博
 - ・川棚町…久保田和恵

◎議員のいない自治体

- ・西海市 ・壱岐市 ・対馬市 ・東彼杵町 ・波佐見町 ・小値賀町 ・新上五島町

2011年いっせい地方選挙 長崎県の子定候補者

(2010年11月1日現在)

■県議 (長崎市選挙区定数 14)



堀江ひとみ
現

- 県議については、佐世保市区と諫早市区で立候補する計画です。
- 町議では、東彼杵町と小値賀町で候補者の検討をしています。
- いっせい選挙の議員選挙は3市5町。他は中間選挙。

■長崎市議 (定数が 51 から 40 に激減。現有 5 から 4 めざす)



内田隆英
現



牧山隆現



中西敦信
現



原口一二美
新

■佐世保市議 (初の二議席へ)



山下千秋
現



真坂共子
新



久野正義
現



福地勝伸
新

■長与町 (現有2の確保)



河野龍一
現



埴理志
現

■時津町



浜辺七美枝
現

■川棚町



久保田和恵
現

* 全員勝利のために、あなたのつながりを生かし、ご支援をお願いいたします。

参院選挙後の長崎県党の活動紹介



全国のみなさんのご支援で パワーある新宣伝カー購入

「他党に比べて出力が弱く遠くでは聞こえない」などの声が上がっていた老朽化した旧宣伝カー。県委員会は3000ワットのスピーカを備えた宣伝カー購入募金を全国に呼びかけました。おかげで、参院選を新宣伝カーでたたかうことができました。

長崎市の平和祈念式典で、被爆者代表として元共産党県議が「平和への誓い」

2010年8月9日。長崎市の平和祈念式典で、被爆者を代表して「平和への誓い」を読み上げたのは、内田保信さん。長崎県で初めての共産党県議となり、県の副委員長をつとめた方です。

内田さんの被爆体験に基づく訴えには、全国各地から多くの共感の声が寄せられました。



県民の願いを町、市、県に。そして国にも

県下の党支部と地方議員は、県民の要求を政治に届けるために、日々頑張っています。

国保税の引き下げ、介護の改善など全国に共通する問題と共に、長崎市では「長寿祝い金の復活」、西海市では「大島大橋の通行料無料化」、平戸市では「取り付け道路の路線変更」…などなど、地域独自の要求実現めざし、党支部と議員が力を合わせています。

また、年に一度は「対政府交渉」を行い、政府に直接県民要求をとどけ、その実現に努力しています。今年10月の政府交渉について「しんぶん赤旗」は、「介護保険制度では、2カ月6万円弱の年金で暮らすお年寄りの実態を紹介し、『生活支援を保険給付として継続してほしい』(安江結子・松浦市議)と涙に声を詰まらせながら訴え」と報道しました。



長寿祝い金の復活を求める署名 長崎市